

日本ミャンマー学生会議 2027 タイ本会議募集要項

International Development Field Camp for Myanmar and Japan Youth Leaders 2027

日本ミャンマー学生会議 2027 では、2027 年タイ本会議の日本側参加者を下記のとおり募集します。

記

1. 募集目的

日本とミャンマーの学生間の交流及び相互理解の促進、両国の社会・文化や国際的な社会課題に対する理解の深化、将来の日緬関係を担う人材の育成を目的として、2027 年 3 月 20 日から 27 日にかけてタイのバンコク及びメーソートで開催する本会議の日本側参加者を募集します。

本会議では、日本とミャンマーの学生が共同生活を送りながら、文化交流、講演、現地視察、グループワーク等を通じて互いの価値観や社会的背景への理解を深めるとともに、在タイミャンマー人コミュニティや国境地域が抱える課題について学び、議論する機会を提供します。また、本会議で生まれた交流を一過性のものに終わらせず、参加者がその後も実行委員として 1 年間活動することで、両国の学生間の持続的な関係構築を目指します。

2. 団体概要

日本ミャンマー学生会議（IDFC）は、2014 年から活動を開始した、日本とミャンマーに関心を持つ学生が中心となり、講演会、勉強会、交流企画、対外発信、教育活動等を通じて、ミャンマーへの理解と日緬の学生間交流を深めることを目的として活動する非営利の学生団体です。

2026 年度は、静岡県熱海市での合宿、公立小中学校での講演会・ワークショップ、一般社団法人と連携したワークショップ、一般参加者を対象としたミャンマー料理交流会、ミャンマー人学生が通う日本語学校と連携した交流イベント等を実施しています。また、オンラインでの講演会や勉強会、SNS を通じた情報発信等にも継続的に取り組んでいます。

2026 年 3 月には、新型コロナウイルス感染拡大やミャンマー情勢の変化により中断していた海外での本会議を 6 年ぶりに再開し、タイ・バンコクにて日本とミャンマーの学生による国際会議を開催しました。2027 年は、開催地をバンコクに加えてミャンマー国境の街メーソートにも広げ、日本側 18 名、ミャンマー側 18 名の計 36 名による本会議を予定しています。

3. 主催・運営主体

運営主体	学生団体・任意団体
日本側代表	邊見和樹（慶應義塾大学）
ミャンマー側代表	Lin Phu Pyae Lwin（チュラロンコン大学）
教員アドバイザー	根本敬名誉教授（上智大学総合グローバル学部名誉教授） 松田正彦教授（立命館大学国際関係学科教授） ナンミャケーカイン特別研究員（京都精華大学特別研究員・ミヤ日本教育センター所長）
助成	三菱 UFJ 国際財団、双日国際交流財団
協賛	国際日本茶協会、学生日本茶協会
後援	野毛坂グローバル

4. 本会議以外の活動

本会議の参加者として採用された方には、採用後から 2028 年 3 月頃まで、日本ミャンマー学生会議の実行委員として継続的に活動していただきます。活動はオンラインを中心に行い、月 2 回程度のミーティング及び役割別の業務を予定しています。講演会、勉強会、文化交流、ボランティア活動、広報、渉外、企画等に取り組みます。

対面でのイベントや合宿も実施しますが、地方・海外在住者も参加できるようオンラインでの活動を中心とします。対面イベントへの参加は原則任意です。

5. タイ本会議の概要

- (1) 実施日程：2027 年 3 月 20 日（土）から 27 日（土）まで。27 日は帰国に向けた移動日です。
- (2) 開催地：タイ王国バンコク及びメーソート（ミャンマーとの国境地域）。
- (3) 参加者：日本側 18 名、ミャンマー側 18 名の計 36 名を予定しています。日本側の追加募集人数は 10 名程度です。
- (4) テーマ：Empowering Migrant Youths Through Resilience: Navigating Barriers and Expanding Opportunities（仮）
- (5) 主な内容：文化交流、講演、現地企業・関係機関等への訪問、フィールドトリップ、国境地域視察、グループワーク、最終発表等。
- (6) 使用言語：日本側の活動では日本語を用い、タイ本会議では英語を使用します。
- (7) 航空券：団体が提示する選択肢から参加者が選択する方式を予定しています。希望に応じて滞在期間の延長も可能とする予定です。

6. 募集人数

10 名程度

選考結果及び受入体制等により、採用人数を変更する場合があります。

7. 応募資格

以下のすべてを満たす者を対象とします。

- (1) 2027 年 4 月時点で国内外の大学、大学院、短期大学、専門学校等に在籍する見込みの者、又は 2027 年 3 月時点で高校に在籍する者。学部・専攻は問いません。
- (2) ミャンマー又は海外の社会・文化・国際交流等に関心を有する者。
- (3) 2027 年 3 月 20 日から 27 日までのタイ本会議に参加できる者。
- (4) 採用後から 2028 年 3 月まで、実行委員として継続的に活動できる者。
- (5) 団体からの連絡に適切に対応し、必要なミーティング及び担当業務に参加できる者。

8. 歓迎する関心・経験等

- ・国際協力、教育、移民、在外コミュニティ、人権、多文化共生、学生交流等への関心
- ・英語、タイ語又はミャンマー語の運用能力(英語の目安：TOEIC600 点、IELTS5.0 以上。未達でも応募可能)
- ・異なる文化的背景を持つ学生との対話や協働に対する意欲
- ・2027 年 2 月から 3 月に予定する事前プログラムへの参加意欲
- ・2027 年 2 月 20 日・21 日に東京で開催予定の春季フォーラムへの参加意欲

9. 事前プログラム及び日程

- (1) 事前プログラム（オンライン・計 3 日間、任意参加。連続ではありません）

1 日目 4 時間程度	参加者の顔合わせ ミャンマー側参加者との交流
2 日目 3 時間程度	ミャンマーを専門とする教員による勉強会 ビルマ語レッスン
3 日目	渡航前オリエンテーション

2 時間程度	
--------	--

※2027 年 2 月から 3 月に実施予定。内容・日程は変更する場合があります。

※日程については、参加者決定後日程調整を行い、極力多くの方が参加できるよう調整予定です。

(2) 東京春季フォーラム (任意参加)

1 日目 2/20 (土)	午前：開会・団体紹介、教員講演「ミャンマーを知る」 昼：教員講演または留学生との文化交流 午後：グループ交流、ミャンマー文化体験、グループ発表 夕方：希望者によるミャンマー料理店での食事会
2 日目 2/21 (日)	午前～昼：国際開発ロールプレイングワーク 午後：振り返り・発表準備、成果発表、閉会式

※東京都内で開催予定。内容は変更する場合があります。

(3) タイ本会議 (バンコク・メーソート)

1 日目 3/20 (土)	午後：バンコク到着、自由時間 夕夜：ウェルカムパーティー
2 日目 3/21 (日)	午前：アイスブレイク、クイズ 午後：交流企画、講演、ミャンマー文化体験 夕夜：バンコクナイトツアー (任意)
3 日目 3/22 (月)	午前：フィールドトリップ 午後：現地オフィス・企業等への訪問、振り返り 夕夜：自由時間→メーソートへ夜行バスで移動
4 日目 3/23 (火)	午前：自由時間 午後：ワークショップ、講演 夕夜：日本茶文化体験
5 日目 3/24 (水)	午前：フィールドトリップ 午後：日本文化体験 夕夜：グループワーク
6 日目 3/25 (木)	午前：フィールドトリップ 午後：博物館訪問、ワークショップ 夕夜：メーソートナイトツアー (任意)
7 日目 3/26 (金)	午前：グループワーク 午後：本会議最終発表、振り返り、最終ワークショップ 夕夜：フェアウェルディナー→バンコクへ夜行バスで移動
8 日目 3/27 (土)	バンコクにて解散・東京／関西へ帰国

※内容・日程は変更する場合があります。

10. 参加費・経費負担

- (1) タイ本会議の参加費は 87,000 円です。書類選考及び面接を通過して参加が決定した方にのみ発生し、応募段階では発生しません。
- (2) 参加費には、指定空港とバンコク間の往復国際航空券（乗り継ぎ便になる可能性があります）、宿泊費 7 泊分（同性による相部屋・車中泊を含む）、バンコク・メーソート間の往復バス代、一部の食事代、一部の入場料・交通費を含みます。
- (3) 自宅及びホテルから空港までの交通費、一部の入場費・交通費、任意イベントの参加費、通信費、上記以外の飲食費、お土産代、その他明記されていない費用は自己負担です。
- (4) 参加費には、三菱 UFJ 国際財団、双日国際交流財団等による助成を活用しています。選択できる航空券等は、参加決定者に別途案内します。

11. 応募方法

所定の応募フォームを提出してください。外部募集サイトでの登録のみでは応募完了となりません。

<https://forms.gle/ss9irRZsT9eus9eYA>

応募フォームでは、基本情報、所属、語学力、志望理由、活動への参加意向等について回答していただきます。

12. 応募締切

応募締切：11 月 20 日

※応募状況に応じて決定します。締切は応募状況により変更し、早期に募集を終了することがあります。

応募者には、選考結果及び今後の案内を登録されたメールアドレス宛に送付します。

13. 選考

- (1) 選考は、応募フォームによる書類選考、任意のデザイン課題及びオンライン面接により実施します。
- (2) デザイン課題は任意提出です。Instagram 投稿サイズの自己紹介画像 1 枚、又はタイ本会議の A4 チラシ 1 枚を提出できます。
- (3) 面接日程は、書類選考通過者と個別に調整します。
- (4) 選考では、志望度、国際交流への関心、協働する姿勢、本会議及び実行委員活動への参加見込み等を総合的に判断します。
- (5) 選考結果は、可否にかかわらず、応募時に登録されたメールアドレス宛に通知します。
- (6) 選考過程及び選考結果の理由に関する問い合わせには回答しません。

14. 個人情報及び写真・動画の扱い

- (1) 応募時に取得した個人情報は、選考、連絡、活動運営、緊急時対応その他日本ミャンマー学生会議の活動に必要な範囲で使用します。
- (2) 活動中は、記録及び広報のため、写真及び動画を撮影することがあります。
- (3) 活動中に撮影した写真・動画を SNS、Web サイト、パンフレット、報告書等に掲載する場合があります。

15. 注意事項

- (1) 応募内容に虚偽が判明した場合、参加決定後であっても参加を取り消すことがあります。
- (2) 本会議への参加に必要な旅券、渡航条件及び健康状態等は、参加者自身で確認してください。未成年者については保護者の同意を求める場合があります。
- (3) 団体からの連絡に継続して応答しない場合や、必要な活動を無断欠席する場合、参加継続を認めないことがあります。
- (4) 参加者都合による参加辞退または規約違反による参加取消があった場合、参加費は返金致しかねます。また、参加辞退によるキャンセル料の発生などで、参加費以上の負担が発生した場合、その負担額は全額参加者に請求いたします。
- (5) 社会情勢、渡航条件、関係機関との調整、予算状況等により、活動内容、日程、実施場所、費用負担等を変更する場合があります。

16. 問い合わせ先

日本ミャンマー学生会議 2027

Email : idfc.japan@gmail.com

Web サイト : <http://idfc-jpn-mmj.jimdo.com/>

Instagram : https://www.instagram.com/idfc_japan/

団体説明資料：

https://www.canva.com/design/DAHHrT6VwY4/hEq7D5_COGCI9_bUfhwH2Q/view?utm_content=DAHHrT6VwY4&utm_campaign=designshare&utm_medium=link2&utm_source=uniquelinks&utm_id=h6dd9734be3

以上

助成・協賛・後援



公益財団法人 三菱UFJ国際財団



公益財団法人 双日国際交流財団

野毛坂グローバル



Global Japanese
Tea Association
国際日本茶協会

